

令和 3年度（2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	交通政策課
	施策	離島の振興		電話番号	087-839-2138
	基本事業	航路の確保及び利便性向上		事業実施主体	市
	事務事業	離島航路振興事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	女木島及び男木島に観光客を呼び込み定着させ、ひいては、航路の活性化を図るため、世界に向けた瀬戸内の魅力の発信、交流人口の増加、地域振興・活性化に向けた取組などを行う。 ・男木～高松航路改善計画の実施 ・航路事業者、自治体及び地域等の共同により、地域総力戦による「島おこし」に取り組む。		
3年度概要	女木・男木島航路に係る利用促進策 離島航路確保維持改善協議会の開催		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	女木・男木島航路利用者
意図(どのような状態にしたいか)	航路の活性化により利用促進に努める。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
施策の実施回数	回	1	1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
女木・男木島航路利用者比率(基準年:平成21年度)	%	目標値	135.18	135.18	135.18	135.18	135.18
		実績値	116.44	186.89	127.06		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 令和2年度の女木・男木島航路利用者は27,516.5人であり、21年度の利用者17,906.3人(小人は0.5人で換算)と比べて約1.27倍となっているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値の達成に至らなかった。	(目標達成度)		(達成度)	94.0%			
							32点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
トータルコスト	[千円]	15,266	13,884	11,602	15,432
(事業費)	[千円]	9,216	10,090	7,861	7,950
(職員人件費)	[千円]	6,050	3,794	3,741	7,482

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

瀬戸内国際芸術祭未開催の年度であり、新型コロナウイルス感染症の影響もあって、利用者は大幅に減少し、目標値を下回った。 また平成29年3月に策定した「男木～高松航路改善計画」に基づき建造された新造船めおんについては、令和3年2月に運航を開始した。
---

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

離島航路の利用促進は、住民の移動手段の確保に留まらず、「離島振興」及び「地域間交流の推進」に資するため、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、離島航路の利用促進施策における事業を継続する。
---